

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名	作成年月日	直近の更新年月日
飛騨市	宮川坂下地区 <small>(桑野、杉原、小豆沢、巣納谷、祢宜ヶ沢上、打保、戸谷、中沢上、塩屋)</small>	平成24年8月1日	令和3年3月18日

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	11 h a
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	10 h a
③地区内における75才以上の農業者の耕作面積の合計	2.4 h a
i うち後継者のいない農業者の耕作面積の合計	1.7 h a
ii うち後継者のいる農業者の耕作面積の合計	0.7 h a
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	2 h a
(備考) ④の耕作面積は、宮川地域全体の面積である	

2 対象地区の課題

<p>【全体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農地が狭小で、畦畔が大きい農地が多い ・所有者不在の農地が増えている ・人が減っても土地は残っているので、共同作業や農地以外の管理も大変である ・自分たちで農地を守るには限度がある ・担い手ができなくなったからと返すと言われても機械等を持っていない人も多く、貸していた農地が戻ってくると困る人が多くいる ・人口減少が進んでおり後継者が不足している
--

3 対象地区内における課題に対する取組

<p>【全体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状維持が精一杯である <p>【打保地区】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・転出された方には農地所有者として管理するよう、責任を果たしてもらえようような仕組みづくりの検討 ・現在耕作できている農地も10年後はわからないので、地域の話合いを継続して行っていく <p>【杉原】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担い手に依頼している農地が多いため、地区で協力し草刈り作業を地区の共同活動として、少しでも担い手に負担をかけず営農を続けてもらう ・リモコン草刈機の共同購入の検討を行う ・農地維持について従来どおり話合いを継続していく
